

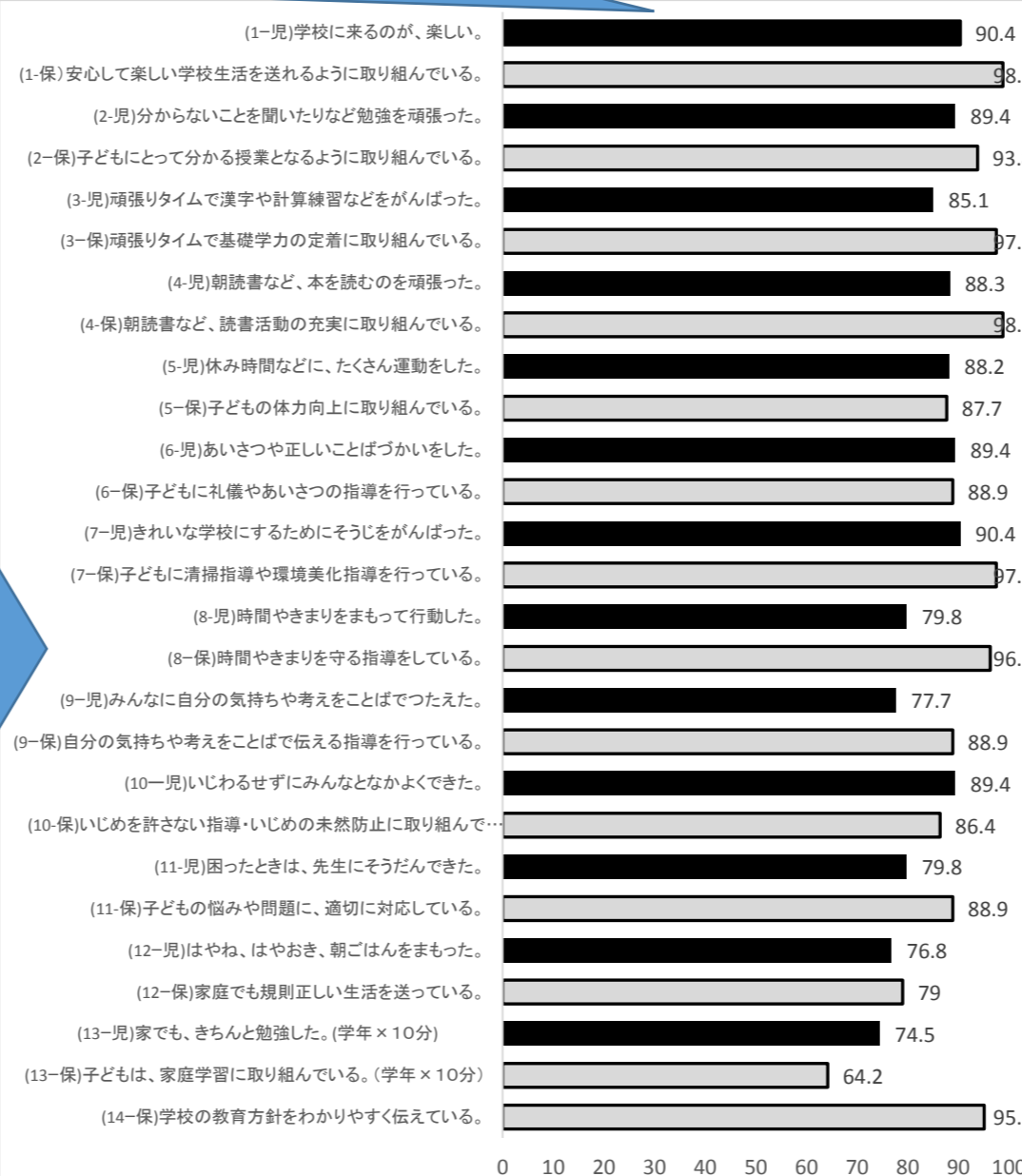
平成28年度 中春別小学校の教育に関するアンケート(1学期)の集計結果と分析・今後の取組について

6月に行いましたアンケートへのご協力大変ありがとうございました。7月の参観日の折にも、少しだけ集計結果を報告させていただきましたが、改めて紙面にて分析等について紹介させていただきます。

「とてもそう思う」「そう思う」の肯定的な回答数を百分率で表しています。

左表の数値を棒グラフで表しています。(上段:児童、下段:保護者)

No.	項目	質問内容の項目(児:児童用、保:保護者用)	
1	学校生活	(1-児)学校に来るのが、楽しい。	90.4
		(1-保)安心して楽しい学校生活を送れるように取り組んでいる。	98.8
2	授業	(2-児)先生に分からないことを聞いたりなど勉強を頑張った。	89.4
		(2-保)子どもにとって分かる授業となるように取り組んでいる。	93.8
3	頑張りタイム	(3-児)頑張りタイムで漢字や計算練習などをがんばった。	85.1
		(3-保)頑張りタイムで基礎学力の定着に取り組んでいる。	97.5
4	読書活動	(4-児)朝読書など、本を読むのを頑張った。	88.3
		(4-保)朝読書など、読書活動の充実に取り組んでいる。	98.8
5	体力向上	(5-児)休み時間などに、たくさん運動をした。	88.2
		(5-保)子どもの体力向上に取り組んでいる。	87.7
6	挨拶	(6-児)あいさつや正しいことばづかいをした。	89.4
		(6-保)子どもに礼儀やあいさつの指導を行っている。	88.9
7	掃除	(7-児)きれいな学校にするためにそうじをがんばった。	90.4
		(7-保)子どもに清掃指導や環境美化指導を行っている。	97.5
8	時間	(8-児)時間やきまりをまもって行動した。	79.8
		(8-保)時間やきまりを守る指導をしている。	96.3
9	伝える	(9-児)みんなに自分の気持ちや考えをことばでつたえた。	77.7
		(9-保)自分の気持ちや考えをことばで伝える指導を行っている。	88.9
10	いじめ	(10-児)いじわるせずにみんなとなかよくできた。	89.4
		(10-保)いじめを許さない指導・いじめの未然防止に取り組んでいる。	86.4
11	悩み	(11-児)困ったときは、先生にそうだんできた。	79.8
		(11-保)子どもの悩みや問題に、適切に対応している。	88.9
12	生活習慣	(12-児)はやね、はやおき、朝ごはんをまもった。	76.8
		(12-保)家庭でも規則正しい生活を送っている。	79
13	家庭学習	(13-児)家でも、きちんと勉強した。(学年×10分)	74.5
		(13-保)子どもは、家庭学習に取り組んでいる。(学年×10分)	64.2
14	説明責任	(14-保)参観日や行事、学校や学級からのお便りなどで学校の教育方針をわかりやすく伝えている。	95.1



ほとんどの項目で「とてもそう思う」と「そう思う」を合わせた肯定的な評価が8~9割でした。

「学校に来るのが楽しい」と感じている児童が90.4%、「安心して楽しい学校生活を送れるように取り組んでいる」と感じて下さっている保護者の方が98.8%と、学校や学級の取組の成果を実感できる結果となりました。引き続き、楽しいと感じていない児童の背景を探りながら、全ての児童が楽しさや満足感を感じることができる学校や学級作りを目指して、教育活動の充実を図っていきます。

「あいさつ」「そうじ」では、児童のおよそ8割強から9割が自分がよく頑張っていると感じております。「分かる授業」「頑張りタイム」の学力向上の取組に保護者の方からも高評価をいただいています。

ただ、「自分の気持ちや考えを伝える」ことについて、今年度も3割の児童が苦手意識を感じているようです。別に行った学習アンケートでも、同じような傾向が見られました。考えはあるのだけれど、それを書いたり、あるいは、話したり説明したりする表現力に課題があります。また、本校には、いじめは見られませんが、誤解による行き違い、あるいは、配慮のない一言などで互いの通じ合えない事などが見られます。2学期は、表現力だけではなく、理解し合う・聞き合うという互いに尊重する態度を育てることを重点にしていきます。

このグラフからは、読み取れませんが、質問項目に対して「そう思わない」と回答している児童が4%、「不明」と回答している保護者が2.1%おりました。そのお子さんの回答に対して個別に関わっていきたいと思っています。また、「不明」の声は、お知らせすることを1学期以上に取り組んでいきたく思っています。

「保護者の方のご意見」(自由記述より)

- ◇運動会の6年生親子競技親子パラパラでどうかな?と思いました。前やってた二人三脚、シーソーのボール入れなど親子一緒に何かやるほうが見ても楽しかった。
- ◇とても楽しい学校生活を送っているようです。運動会の組体操について、子ども達は楽しみにしていたが、毎日のように新聞やテレビで取り上げられていたので、中止になるのかなと思っていました。内容を変更しても、継続していただけたので、喜んでいました。よかったです
- ◇子どもから聞く話ですと、友人と同じようにふざけたりしていても怒り方が違うというか、友人は怒られず、自分は怒られる~とか、女子には怒らないとか、色々聞きます。先生の立場なら、全生徒平等にして下さい。
- ◇下の学年の子が、6年生とか上の学年の子に向かったの口調や行動が結構激しいですね。なぐったり、けったりするみたいですね。そう言うことをされた子が、先生に報告したあと、そーいう事する子の親には、しっかり伝えてくれているんですかね?悪いことは、悪いんだから親にもしっかり伝え親からも子どもに伝えて注意してもらおうかしないと、絶対減らないですよ。
- ◇1~11までは、子どもと一緒に記入しました。今の所いじめはないといっていました。先生達も、忙しいとは思いますが、子ども達のことよろしく願います。
- ◇いじめについてですが、いじめは基本的に先生方の見える所ではやらないし、いじめられる側が周りに言えないこともあります。いじめている側に勇気がない場合もあるかもしれません。基本的にわかりにくいことなので、「うちの子に限って」「うちのクラスの子に限って」と思わず日ごろの子ども達の様子をよく見ることが大事だと感じます。他人の気持ちを想像するような道徳的な授業等もっと取り組んでもよいのではないのでしょうか。

※上記の他にも、たくさんコメントをありがとうございました。

左記の自由記述には、運動会に関わる事が書かれています。親子種目や組体操のことを含めて、運動会全般に関わる見直しをしていきます。学校だけでなく、さらに保護者や地域の方々の声も吸い上げていきたいと考えております。

また、児童への指導の仕方については、襟を正して行きたいと考えています。上級生への態度については、学級指導において定期的に指導をしていきますし、場合によっては、ご家庭とも連携して効果を上げていきたいと考えていますのでよろしくお願いたします。

いじめについては、保護者の方の一番気になることと思います。学校では、引き続き、「いじめを絶対に許さない」をもとに、いじめの早期発見・早期対応、いじめの未然防止に全力を注いでいきます。

日常の観察や定期的ないじめアンケート・教育相談を実施し、子どもの気になる行動や変化を察知し、家庭と連携ながら、早期発見・早期対応を行っていきます。

いじめの未然防止として、次の3つに取り組めます。1つめは、時間を守る・ルールを守ることなどを再度確認しながら指導し、みんなが気持ちよく日常生活をおくる基盤を固めます。2つめは、自分自身だけでなく、友達や集団との関わりについて、考える道徳の授業を行っていきます。11月の参観日には、全学級道徳の授業公開を行います。また、私たちの道徳の家庭との連携も推進していきます。3つめは、今回のアンケートの課題の1つである「自分の気持ちや考えを伝える」ことができる環境作りを行います。間違いや失敗を笑ったり、自分のことだけを主張するのではなく、互いに尊重し合う精神を基盤に、理解する・聞く態度を育てていきます。

2学期末にも、同様のアンケートを実施し、1学期の結果と比較しながら学校運営や教育活動の改善に生かしていきます。

